

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

職業実践専門課程 産業デザイン学科 イラストレーション専攻

授業科目名	区分		配当年次 学期	授業時数
	必修	選択		
デザイン演習 I	○		1年・前期	60
クリエイティブワーク I	○		1年・前期	60
デジタルイラスト I	○		1年・前期	60
DTP演習 I	○		1年・前期	60
イラストテクニック I	○		1年・前期	60
イラストレーション演習	○		1年・前期	60
合 計				360

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: イラストレーション専攻
担当教員: 渡邊 智美 (非常勤講師)
実務経歴: 渡邊: 広告制作会社にてグラフィックデザイナーとして広告制作を担当。現在はフリーランスでディレクター兼デザイナーとして活動中

科目名 : **デザイン演習 I**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: 1 年次
開講学期: 前期
授業時数: 60 時間
単 位: 2 単位

■ 科目概要: 書体の扱いやレイアウトといったデザインの基礎を学修し、その後学んだ基礎を元にデザイン制作を実践に即した形で行う。デザインとイラストレーションの関係性を知り、デザインによってイラストレーションにもたらされる効果も学修する。

■ 到達目標: ①書体の扱いやレイアウト技術といったデザインを行う上での基礎を理解する。
②グリット・比例分割などを使った構成を考える力の醸成。
③完成作品発表によるプレゼンテーション能力の醸成。

■ 授業計画:

- 第1回 オリエンテーション 概念の理解
- 第2回 点・線・面の表現
- 第3回 伝える1<フォントを選ぶ>
- 第4回 伝える2<レイアウトの基本>
- 第5回 グリット構成1(1)<プロポーシヨングリットを使ったデザイン・イラストの構成>
- 第6回 グリット構成1(2)<プロポーシヨングリットを使ったデザイン・イラストの構成>
- 第7回 グリット構成1(3)<プロポーシヨングリットを使ったデザイン・イラストの構成>
- 第8回 グリット構成1(4)<プロポーシヨングリットを使ったデザイン・イラストの構成 リサイズ>
- 第9回 グリット構成1(5)<プロポーシヨングリットを使ったデザイン・イラストの構成 リサイズ>
- 第10回 グリット構成2(1)<プロポーシヨングリットを使った写真と文字の構成>
- 第11回 グリット構成2(2)<プロポーシヨングリットを使った写真と文字の構成>
- 第12回 グリット構成2(3)<プロポーシヨングリットを使った写真と文字の構成>
- 第13回 グリット構成2(4)<プロポーシヨングリットを使った写真と文字の構成>
- 第14回 グリット構成2(5)<プロポーシヨングリットを使った写真と文字の構成>
- 第15回 グリット構成2(6)<プロポーシヨングリットを使った写真と文字の構成>

■ 教科書:

■ 参考書: Illustrator操作とデザインの教科書、Photoshop操作とデザインの教科書、配色アイデア手帖、
とりあえず素人っぽく見えないデザインのコツ、誰も教えてくれないデザインの基本 最新版 細山田デザイン事務所著

■ 成績評価: 出席状況・取り組み姿勢・提出課題作品の達成度等を総合的に評価する。

■ 関連科目: DTP演習 I ・クリエイティブワーク I

■ 履修上の留意点:

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： イラストレーション専攻
担当教員： 山田 尚人 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作会社勤務、絵本作家・イラストレーター・グラフィックデザイナーとして従事。
第14回文芸社えほん大賞 絵本部門大賞受賞

科目名：

クリエイティブワーク I

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： イラストレーションの役割やデザインの現場において、より魅力的かつ人に伝わるビジュアル制作を学習する。イラストレーターとしてのワークフローなど、イベントを想定した制作物を通してデザインとイラストレーションの関係性などを含めて習得する。

■到達目標： イラストレーションに対してのテーマやコンセプトを自分の中で持ち表現する力を養う。
表現方法を通して、現状の表現からの新たな発見や応用ができる力を養う。
イラストレーションを通してデザインの面白さを発見する。

■授業計画：

- 第1回 デザインとイラストレーションの関係性について
- 第2回 ①コンセプトメイキング
- 第3回 制作
- 第4回 制作
- 第5回 プレゼンテーション
- 第6回 ②デザインってなに？デザインってこんなに面白い！
- 第7回 制作
- 第8回 プレゼンテーション
- 第9回 ③イベントを通してデザインとイラストレーションの関係性について
- 第10回 制作物の方向性を決める
- 第11回 制作
- 第12回 制作
- 第13回 制作
- 第14回 制作
- 第15回 プレゼンテーション

■教科書： たのしくイラストディレクション！

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: イラストレーション専攻
担当教員: 小守 芹奈、井上 冴香、福田 小雪、深沢 麗奈 (非常勤講師)
実務経験: 小守: アニメーション会社にてアニメーション・イラストの仕事に携わった後、ゲーム会社でUIデザインなどのデザイン制作を担当、退職後フリーランスとして活躍。
井上: 大手広告代理店制作会社にてグラフィックデザインを担当。退職後日本画家として作家活動中。
福田: webマンガサイト 大手のcomi colにて作品連載。マンガ家として活躍中。
深沢: ゲーム制作会社で2Dデザイナーとしてイラスト制作を担当したのち、フリーランスで活動。

科目名 :

デジタルイラスト I

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: 1年次
開講学期: 前期
授業時数: 60時間
単 位: 2単位

■ **科目概要:** イラストレーション制作において現場での利用率が高まっているPC、ペンタブレットを用いたデジタルイラストについて基礎から応用まで実際に制作しながら習得を図る。コミックキャラクター、電子コミック、美人画など幅広い課題に取り組む。

■ **到達目標:** ペンタブレット・クリップスタジオの基本操作。
初回のチュートリアル・アンケートを経てコースを分け、ビギナーコース(井上・深沢)では操作習得を中心にゆっくりと課題を進める。エキスパートコース(小守・福田)では人物の描き分け、パース定規などを用いて空間の作画を含めた課題に取り組む。

■ 授業計画:

第1回	CLIP STUDIO PAINT チュートリアル① / ペンタブレット チュートリアル	
第2回	CLIP STUDIO PAINT チュートリアル②	
第3回	CLIP STUDIO PAINT チュートリアル③ /プレゼンテーション	
	エキスパート	ビギナー
第4回	人物描き分け①:年齢差、体格の異なる4~5名を配置し描き分ける	チュートリアル中級のマスター①:マスク塗り、レイヤー、ブラシ設定などゆっくりクリアしていく
第5回	人物描き分け②	チュートリアル中級のマスター②
第6回	人物描き分け③	チュートリアル中級のマスター③
第7回	人物描き分け④	人物描き分け①:年齢差、体格の異なる4~5名を配置し描き分ける
第8回	人物描き分け④	人物描き分け②
第9回	人物描き分け⑤	人物描き分け③
第10回	風景とパース①:パース訓練 建物を描き、前景に人物を配置	人物描き分け④
第11回	風景とパース②	人物描き分け④
第12回	風景とパース③	人物描き分け⑤
第13回	風景とパース④	クリアした人には風景とパース課題を指導 人物描き分け⑥
第14回	風景とパース⑤	人物描き分け⑦
第15回	風景とパース⑤	人物描き分け⑧

■ **教科書:** 360° どんな角度もカンペキマスター! マンガキャラデッサン入門(西東社)

■ 参考書:

■ **成績評価:** 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■ 関連科目:

■ 履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: イラストレーション専攻
担当教員: ゴトウ マキエ、栗井 亜矢子 (非常勤講師・専任教員)
実務経歴: ゴトウ マキエ: 印刷会社にてイラストレーター、編集デザインを担当。退社後はフリーイラストレーターとして活動。
栗井: 広告制作会社でグラフィックデザイナーとして広告・イラスト制作を担当

科目名 : **DTP演習 I**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: 1年次
開講学期: 前期
授業時数: 60時間
単 位: 2単位

■科目概要: デザイン制作で必要不可欠となったデジタル技術をDTPの知識やアプリケーションとともに学習する。前半はillustratorを使用してグラフィック技術を学びながらデジタルの操作感に慣れていくことを基本とし、後半はDTPの知識やルール、Photoshopによる画像生成の基本を学ぶことや印刷物制作を通して実務的なDTPワークフローを実習する。その他にPC以外のDTP関連の周辺機器の正しい取り扱いと操作を実習し制作に活用できるようにする。

■到達目標:

- ・ DTP、印刷工程の知識の習得
- ・ DTPアプリケーション (illustratorおよびPhotoshop) の基本操作の習得
- ・ アプリケーションとデジタル機器類の連携操作を理解したデザイン制作ができる

■授業計画:

- 第1回 DTP概要・デジタル基礎
- 第2回 illustrator基礎(1)
- 第3回 illustrator基礎(2)
- 第4回 illustrator基礎(3)
- 第5回 illustrator基礎(4)
- 第6回 illustrator基礎(5)
- 第7回 illustrator基礎(6)
- 第8回 illustrator基礎(7)
- 第9回 illustrator基礎(8)
- 第10回 illustrator基礎(9)
- 第11回 illustrator基礎(10)
- 第12回 illustrator基礎(11)
- 第13回 illustrator基礎(12)
- 第14回 illustrator基礎(13)
- 第15回 illustrator基礎(14)

■教科書: Illustrator操作とデザインの教科書 Photoshop操作とデザインの教科書

■参考書: 配色アイデア手帖

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： イラストレーション専攻
担当教員： 栗山 義勝 (非常勤講師)
実務経験： イラスト制作会社にてイラストレーター・アートディレクターとしてテクニカルイラストを担当。退職後フリーランスで活動。

科目名 : **イラストテクニックⅠ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 練習課題・応用課題に挑戦。徐々に精密表現に馴れさせ個々人の表現力の基盤を作り上げる。

■到達目標： 前半はU35を中心に透明画材でのリアル表現・色づくりを、後半はアクリルガッシュを中心に不透明画材でのリアル表現を習得させる。

■授業計画：

- 第1回 <座学>テクニカルイラスト
- 第2回 <基礎>パステル色鉛筆
- 第3回 <基礎>透明画材U35
- 第4回 <応用>透明画材表現(1)
- 第5回 <応用>透明画材表現(2)
- 第6回 <応用>透明画材表現(3)
- 第7回 <応用>透明画材表現(4)
- 第8回 <応用>透明画材表現(5)
- 第9回 <基礎>不透明画材(1)
- 第10回 <基礎>不透明画材(2)
- 第11回 <応用>透明・不透明水彩の併用(1)
- 第12回 <応用>透明・不透明水彩の併用(2)
- 第13回 <応用>透明・不透明水彩の併用(3)
- 第14回 <応用>透明・不透明水彩の併用(4)
- 第15回 <応用>透明・不透明水彩の併用(5)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: イラストレーション専攻
担当教員: 池田 蔵人 (非常勤講師)
実務経歴: 広告制作会社にてグラフィックデザイナーとしてキャラクター・イラストレーションの作画を担当、現在はフリーランスとして雑誌カット、絵本、広告イラスト、グッズ制作を行う。

科目名 : **イラストレーション演習**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: 1年次
開講学期: 前期
授業時数: 60時間
単 位: 2単位

■科目概要:
・新聞、雑誌、ポスター、パンフレット等の広告媒体で使用するイラストレーションの役割を理解し、表現方法や技術を習得。
・独りよがりではない、受け手にメッセージがしっかりと届くイラスト表現を身につける。
・アイデア出しやイメージの膨らませ方をトレーニングする。
・クライアントや読み手を意識したイラストを制作。

■到達目標:
・Illustratorを使用したデジタルイラストの技術を習得。
・クライアントが求める様々な要望を理解し、オリジナリティのあるイラストを制作できるようになる。

■授業計画:

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 ひろおサンタメール第3回イラスト公募(1)
- 第3回 ひろおサンタメール第3回イラスト公募(2)
- 第4回 ひろおサンタメール第3回イラスト公募(3)
- 第5回 ひろおサンタメール第3回イラスト公募(4)
- 第6回 ひろおサンタメール第3回イラスト公募(5)
- 第7回 円山動物園ポストカードデザイン(1)
- 第8回 円山動物園ポストカードデザイン(2)
- 第9回 円山動物園ポストカードデザイン(3)
- 第10回 円山動物園ポストカードデザイン(4)
- 第11回 円山動物園ポストカードデザイン(5)
- 第12回 ユーザーに意識したタッチの描きわけ(1)
- 第13回 ユーザーに意識したタッチの描きわけ(2)
- 第14回 ユーザーに意識したタッチの描きわけ(3)
- 第15回 ユーザーに意識したタッチの描きわけ(4)

■教科書:

■参考書: たのしく、イラストディレクション

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点: